

受験番号

2019年度 推薦入学試験問題

小論文

【注意事項】

1. この問題冊子には答案用紙が挟み込まれています。試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 試験開始後、この問題冊子と答案用紙の受験番号欄（左上）に受験番号を記入下さい。
3. 問題冊子には問題が1～2ページに記載されています。落丁、乱丁および印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて監督者に知らせ下さい。
4. 答案には、必ず鉛筆（黒、「HB」「B」程度）またはシャープペンシル（黒、「HB」「B」程度）を使用下さい。
5. 解答は答案用紙の指定された場所に記入下さい。ただし、解答に関係のないことが書かれた答案は無効にすることがあります。
6. 問題冊子の余白と裏面は下書きに使用しても構いません。
7. 問題冊子および答案用紙はどのページも切り離してはいけません。
8. 問題冊子および答案用紙を持ち帰ってはいけません。

課題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

年金だけで暮らしている高齢者の中には、病院に行くことさえ我慢している人が少なくない。しかし命に関わる病気を患えば、医療費は削ることのできない出費となる。できる限り我慢していたとしても、病気が悪化すれば、借金をしてでも病院に行かざるを得ないケースが大半だ。

一方でどれほど不自由があろうが、限界まで我慢して切り詰めるのが「介護サービス」だ。

介護保険は高齢者の身体の状態や認知症などの病気の程度によって、介護サービスを必要とする段階を5段階に区分していて、要介護「1」から「5」までである。段階ごとにサービスを利用できる時間数や内容などに幅があり、その範囲内でサービスを組み合わせて利用することになる。

ひとり暮らし高齢者が増えていて、介護サービスの必要度は増している。仮に介護保険の上限いっぱいまで受ければ、原則介護サービスの費用は1割負担となる。だがその1割負担が支払えず、上限いっぱいまで利用することができない人が少なくない。さらにひとり暮らしで寝たきりの高齢者など、介護保険で認められている上限を超えて訪問サービスを利用したい場合は、超えた分は全額自己負担となる。

都内の訪問介護ステーションなどを取材した時、「もっとヘルパーや看護師の訪問回数、時間を増やしたい」という声を数多く聞いた。

たとえば足腰が不自由な高齢者の自宅に週1回、1時間、ヘルパーが訪問しているとす。わずか1時間では、掃除をして、食料品などの買い物をすれば終わってしまう。入浴の介助、食事作り、洗濯など支援したいことは山ほどあるのに、それをしてあげられないのが心苦しいと訴える介護ヘルパーは多い。それでも「利用者がお金がないから」という理由で、介護サービスは増やせないのだ。

1割負担でも、1回1時間ほどであればサービスによっては差はあるものの、概ね500～1千円程度かかる。これが全額自己負担であれば、1万円以上かかることになる。独居高齢者が安心して、不自由なくひとり暮らしを維持するための介護費用は、年金暮らしの人にとっては重い負担なのだ。そして「金の切れ目が、サービスの切れ目」とでも言おうか――経済的にギリギリの暮らしをしている年金生活者の多くは、十分なサービスを受けられずにいるのだ。

2014年7月、取材で訪れたのは東京K区の訪問看護ステーション。看護師でもあり所長でもあるYさんは、費用が払えないため十分な訪問サービスを受けられ

ない人が増えていて、自宅で暮らす高齢者を支えていくのは大変なことだと話してくれた。

「私たちのステーションで訪問サービスを利用しているお年寄りでも、もっと看護や介護サービスを利用したいという人は多いです。看護師としても体調のことを考えると、もっと訪問したい高齢者はいらっしゃるのですが、その分お金もかかりますしね。」

Yさんは介護サービスを切り詰めている深刻なケースを、是非知って欲しいと同行取材させてくれることになった。

(NHK スペシャル取材版、老後破産 ―長寿という悪夢―、新潮社 (平成 30 年 2 月 1 日発行) より一部改変して抜粋)

設問 1. 本文に見出しを見つけなさい。

設問 2. 介護サービスを切り詰めなければならない高齢者のような人を、一般的にどう呼ぶか、5 字で答えよ。

設問 3. 下線部に関して、「金の切れ目が、サービスの切れ目」の意味しているところを 100 字以内で述べよ。

設問 4. 「介護保険」における「介護」とは何か。本文中の言葉を使って 40 字以内で述べよ。

設問 5. わが国において、介護費用を軽減するためにはどうすればよいと考えるか。また負担を軽減するにあたり、どのような難しさがあるかと考えるか。250 字以内で述べよ。